



COMMUNICATION

2002年11月
株式会社 ワコール

ワコール World Women Now ～世界女性のこころとからだ～ 調査

株式会社ワコールでは、当社の営業・製造拠点がある世界12都市（東京、ニューヨーク、シンガポール、マニラ、パリ、上海、香港、台北、ソウル、バンコク、クアラルンプール、ジャカルタ）に住む20代・30代・40代の女性を対象に、体型と意識に関する調査を実施しました。

当社では、からだを科学する人間科学研究所を設置してさまざまな研究を行っているほか、コーポレートスローガン「その次の、美しさへ。」を掲げ、からだだけでなく心の領域にまで目を向けて、女性の美しさを支援しています。

世界12都市の女性たちの ボディの実際と理想 がわかりました！

12都市女性の実測サイズと理想サイズのデータ(次ページ参照)から、次のようなことがわかりました。

●身長と体重のバランス

身長はパリ・ニューヨーク・ソウル・上海が高く、バンコク・東京・ジャカルタ・マニラが低い。
体重はニューヨークが非常に重く、東京・シンガポールが軽い。
パリ・ソウル・上海は大柄、ニューヨークは太り気味、東京・シンガポール・バンコクは小柄である。

理想サイズのグラフでは、実測値よりも全体に左上の方向に動いており、12都市共通で、身長が高く体重が軽い「やせ気味」の体型を理想としている。

●バスト・ウエスト・ヒップの周径バランス

ニューヨーク、マニラ、ジャカルタはバスト・ウエスト・ヒップにメリハリが少ない「I型」。
上海、香港、東京、ソウル、台北、はメリハリのある「X型」。
バンコク、クアラルンプール、シンガポールはヒップが大きい「A型」。
パリはバストが大きい「V型」である。

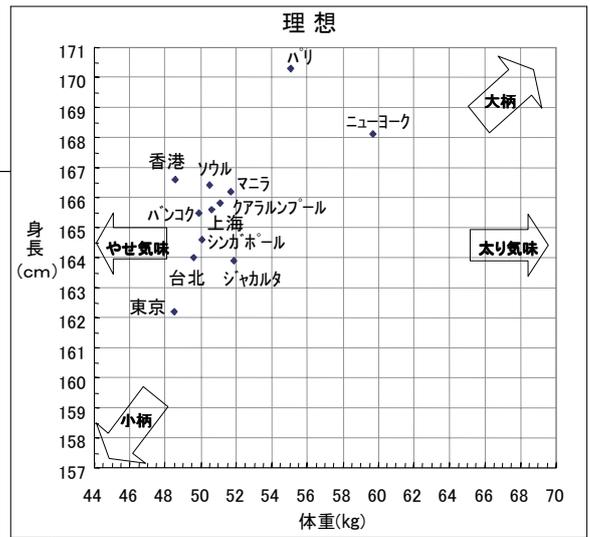
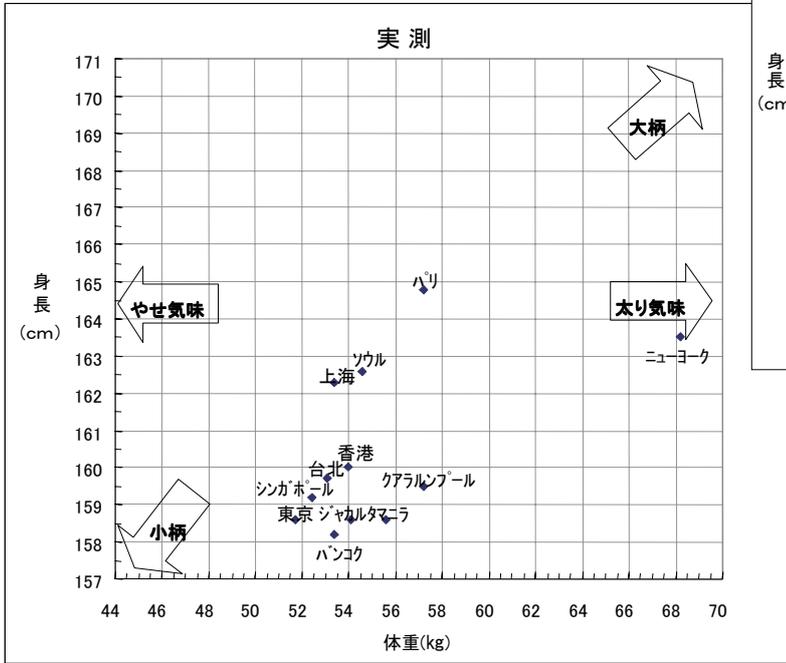
理想サイズのグラフでは、実測値よりも全体に右上の方向に動いており、12都市共通で、メリハリの大きい「X型」の体型を理想としている。

中でも、東京・香港・上海は、よりメリハリの大きい体型を理想としており
パリ・ニューヨークはバスト優勢、ジャカルタは全体の中ではメリハリは少なめ志向である。

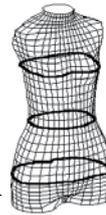
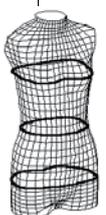
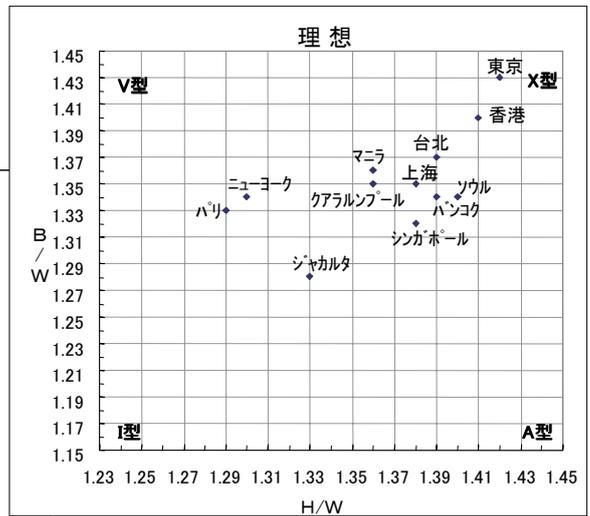
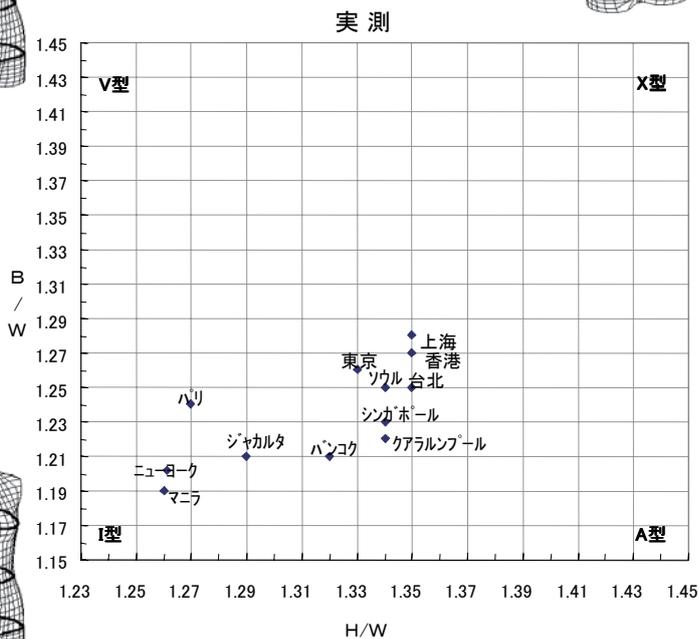
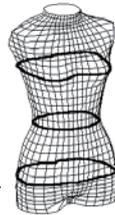
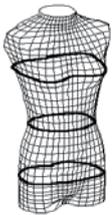
調査概要 「ワコール World Women Now 世界女性のこころとからだ」

◇調査地域: 東京をはじめとする世界12都市 ◇調査対象: 20歳～49歳女性個人 1,720サンプル
◇調査方法: 店頭配布による留置き法(ニューヨークは会場調査) ◇調査時期: 2001年10月～12月(ニューヨークのみ2002年6月)

身長と体重のバランス



バスト・ウエスト・ヒップ 周径のバランス



世界の女性と比較してみた 東京の女性は？

東京の女性は、身長が低めで体重が軽い、いわゆる小柄な体型。バスト・ウエスト・ヒップのサイズは小さいが、ウエストに対してバスト・ヒップが大きい、いわゆるメリハリのある体型でした。また、理想の体型として、背が高く、きゃしゃで、大きなバストを望んでいるという結果に。

からだに関する意識についてみたところ、最も特徴的だったのは、東京の女性の、自分の体型に対する満足度の低さです。現在の体型と理想の体型にはサイズにそれほど差がないにもかかわらず、からだの各部分の満足度は12項目中11項目で不満足であるという結果に！理想の高さが、不満の高さにつながっている。今回の調査ではそんな傾向が現れています。

また、結婚に関する意識では、「結婚すべき」「機会があれば結婚した方がよい」と答えた人が、12都市中 第2位（82.9%）になりましたが、夫婦観は、「経済的には夫に支えてもらいたい、家事もやってもらいたい」と、夫への要求は厳しい。

①現在の自分の体型でここが変われば良いと思うところ。

1位は脚（49.5%）、2位がお腹（49.1%）。

12都市の女性の変えたい部位NO.1は、圧倒的にお腹（50.1%）

②好きな下着の色

1位はベージュ（55.0%）、黒はあまり好まない。

12都市中半数の6都市で、1位が「黒」

③大人になったと感じた年齢と理由

「大人になった」と感じた年齢は 20.4才。

12都市の平均は20.6才。理由の1位（49.5%）にあがった「自分の意志や判断で行動できるから」は12都市の共通認識

④結婚に対する意識

「結婚すべき」 + 「機会があれば結婚したほうがよい」 = 82.9%

結婚願望は、12都市中 第2位

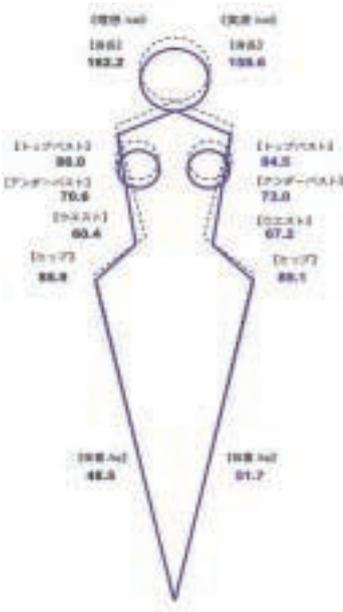
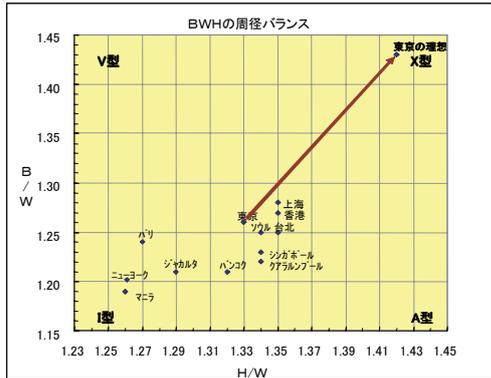
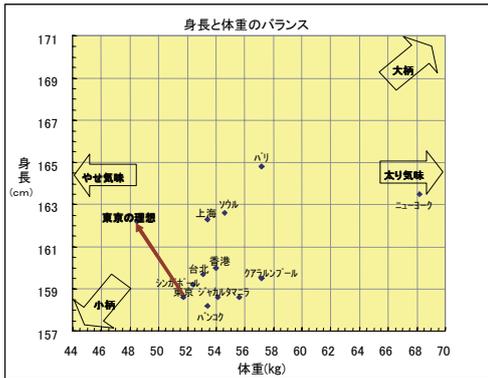
東京

体型に関する実態と意識

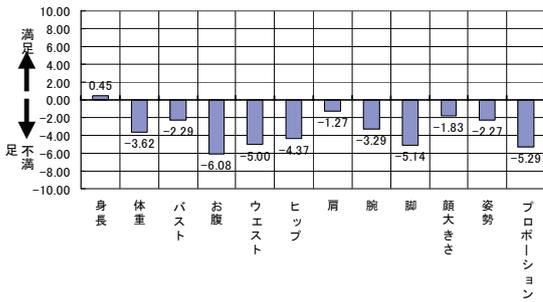
体型に不満の多い東京の女性。
アンダーバストとウエストを細くしてX型のボディを手に入れたい！

東京女性は現状の自分の体型に対する満足度が12都市中で最も低く、身長以外のすべての項目で不満度が満足度を上回っている。
理想と現実のサイズの差が実際には小さいにもかかわらず、不満度が高いというのは現状に甘んじない気持ちが強いことがうかがえる。
また、理想サイズの“トップバスト - アンダーバスト”は15.4cmと12都市で一番大きいことから、大きなバストへの憧れが強いことがうかがえる。一方ではヒップは小さくウエストの細いきゃしゃなからだを望んでいる傾向があり、東京の女性は、下半身はすっきりと細く、バストの大きい体が憧れといえる。

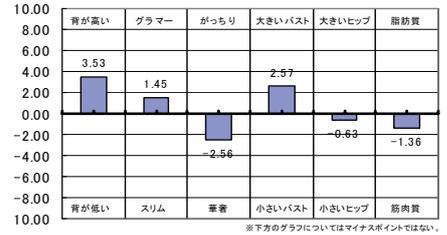
■ 体型特徴と理想のプロポーション



■ 体型満足度 ※大変満足(+10) やや満足(+5) やや不満(-5) 大変不満(-10) といった点数を与えてポイント化



■ 理想体型 ※理想と考える方向性の回答をポイント化



■ 改善希望部位

1位	脚	49.5%
2位	お腹	49.1%
3位	ウエスト	32.4%

理想のプロポーションをもつ女性
1位 藤原紀香 2位 神田うの 3位 飯島直子
理由：バランスがよい・ウエストがキュッとしまりバストが大きい・細いが痩せすぎでない・脚がきれいな、など

ライフスタイル・生活意識

結婚し、経済的には夫に支えてもらいたい、家事もやってもらいたい。

結婚願望は82.9%と高い。
 夫婦の関係の項目で、「夫と妻は同等である」「夫も家事に参加すべきである」「夫の帰宅が遅ければ先に寝てもよい」「夫も家事を妻と同等程度行うべき」「妻に男友達がいるもかまわない」といった妻の主張の高い項目が上位となっている。既婚者では、未婚者に比べ、「夫が生活のために働くのは当然」「夫からあまり干渉されたくない」が高い。「妻も生活費を負担すべきである」は未婚者も既婚者も共に低く、東京女性は“結婚し、経済的には夫に支えてもらいたい、家事もやってもらいたい”と夫への要求は厳しい。

結婚願望＝結婚すべき＋結婚した方がよい

